

エコアクション21

# 環境経営レポート

対象期間：2025年度（2024年3月1日～2025年2月28日）

## 環境経営方針

1. 組織の概要
2. 実施体制
3. 環境負荷と環境経営目標
4. 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価
5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日：2025年5月30日

## オカノ電機株式会社



# 環境経営方針

オカノ電機株式会社は、

## オカノ電機の基本理念

弊社は、常に未来を見つめ、従業員の個性を尊重し、想像力を生かし、新しい可能性に挑戦する心をもって、優れた自主技術を育み、顧客の満足度を第一に、安全性、品質、**環境に配慮した卓越した製品を提供する**ことで、社会に貢献することを基本理念とする。

に基づき、環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献するという基本理念のもとに、経営における課題とチャンスをつまえた事業活動を通じて健康で豊かな社会の実現を目指すことを目的として下記の基本事項に取り組みます。

1. 当社の主力商品はF A装置であり、お客様の工場内での省力化や効率化を図る装置で、これらの装置をお客様に販売し、使用されることが世の中の環境負荷の低減活動に資すると考えております。そのため販売の拡大が環境への取り組みの重点分野となります。また装置自体が以下の環境に配慮した製品作りを目指しております。
    - (1) 効率良く業務を行うこと、及び作業に伴う事故の防止を図るために、整理、整頓、清掃、清潔、躰の5 S活動の徹底を図ります。
    - (2) 製品の設計、生産活動の各段階、及び製品・サービスにおいて環境負荷の削減・環境汚染の防止に努めるとともに、常に創意工夫し公害等の環境リスクの低減に取り組めます。
    - (3) ITを積極的に活用し経営効率を向上させることで、間接的に環境保全に貢献します。
    - (4) 特定有害物質の使用禁止指令（ROHS）等、法規制の整備に適応し、地球に優しい、環境負荷の少ない資材の調達を目指し、各社取引先の協力を得ながら、グリーン調達の推進に努めます。
  2. 環境に関する法令・規則・協定及びその他の合意事項を遵守致します。
  3. 環境活動・社内広報活動・全社教育を推進し、全従業員の環境経営方針の周知と環境に関する意識向上を図ります。
  4. 社内の緑を守り、緑化を進め、健康で快適な環境の確保に寄与致します。
- 上記の経営環境方針に基づき環境経営の継続的改善を誓約いたします。

2018年5月1日

オカノ電機株式会社

代表取締役 岡野 広明

## 1. 組織の概要

### ① 事業所名及び代表者氏名

オカノ電機株式会社  
代表取締役 岡野 広明

### ② 所在地

認証・登録範囲；

本社工場（本館、別館） 〒203-0003 東京都東久留米市金山町 2-8-18

名古屋営業所 〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷 3-5 グロウバルビル 4-A

大阪営業所 〒571-0039 大阪府門真市速見町 9-27 第2ハイツタカヒロ 101

全事業所が対象

### ③ 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 岡野 広明（代表取締役）  
環境事務局 内野 直子  
連絡先 電話 042-471-3316 FAX 042-474-1675  
e-mail naoko.uchino@okano-denki.co.jp

### ④ 事業活動の概要

1. 精密部品の画像処理による自動検査装置、高速搬送整列装置等の設計・製作・販売
2. 基板検査装置（インサーキットテスター、ユニットチェッカー）等の設計・製作・販売
3. 屋外看板用照明器具製造・販売 LED レンズモジュール ONESTAR

### ⑤ 事業の規模

製品出荷額： 3,648 百万円（2025 年度）

	本社工場
従業員数(人)	129(2月末)
延床面積(m <sup>2</sup> )	2050m <sup>2</sup>



4面外観検査装置



インサーキットテスター



LED レンズモジュール  
ONESTAR

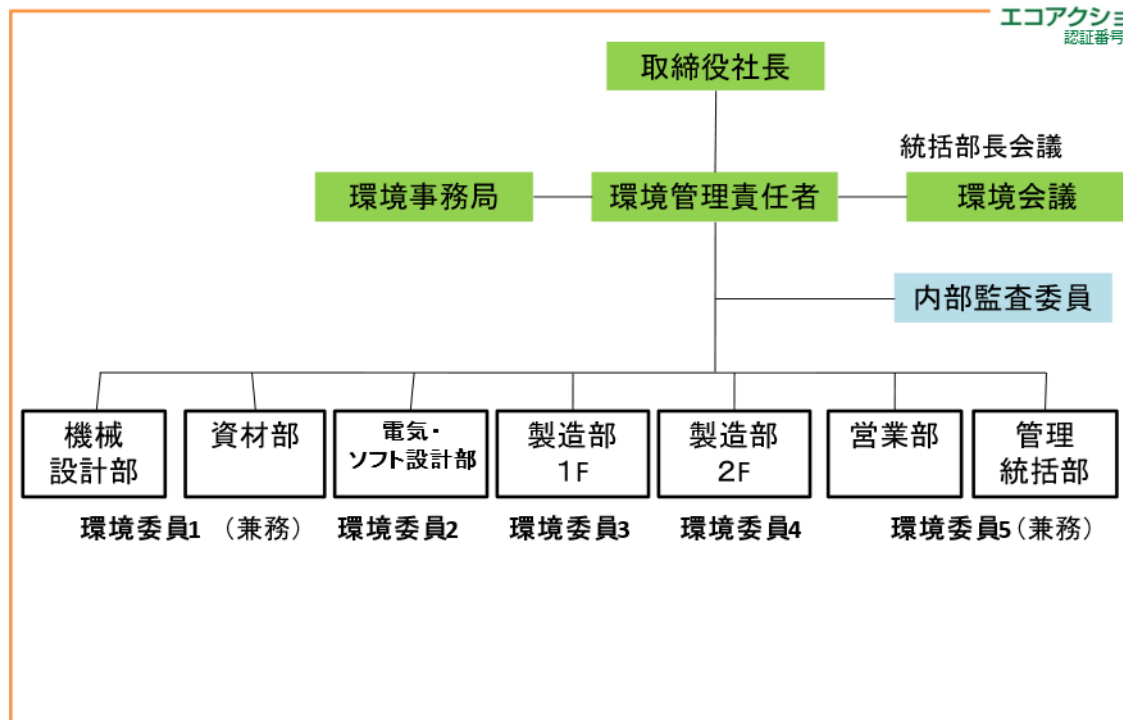
## 2. 実施体制

# 組織

2025年 3月



エコアクション21  
認証番号0003954



組織	役割・責任・権限
代表者(社長) (認証登録範囲のトップ) 最高決定者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する最終決定責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び決定</li> <li>環境目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者 (環境経営に関する統括責任)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、統括責任</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>

<p>環境事務局 (環境管理責任者の補佐)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局</li> <li>・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・ 環境目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・ 環境経営の実績集計</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・ 環境経営レポートの作成、公開(ホームページへの掲載と地域事務局への送付)</li> <li>・ 緊急事態訓練の計画と実施</li> <li>・ 内部監査の計画と依頼</li> </ul>
<p>環境会議 (統括部長会議)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統括部長会議は、環境改善を部門で実行するための組織。</li> <li>・ 自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・ 自部門における環境方針の周知</li> <li>・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
<p>環境委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング、自部門における環境面での問題、提案等吸上げ会議にて意見具申</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、会議にて報告</li> <li>・ 内部監査の実施協力</li> </ul>
<p>全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・ 決められたことを守り、自主性・積極的に環境経営へ参加(各自の役割の遂行)</li> </ul>

### 3. 環境負荷と環境経営目標

環境 目標	基準(実績)	短期目標	中長期目標	
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
1.CO2 排出量	266,846 kg-CO2	2%削減 261,509 kg-CO2	4%削減 256,172 kg-CO2	6%削減 250,835 kg-CO2
2.電力消 費量削 減	466,040 kWh	2%削減 456,719 kWh	4%削減 447,398 kWh	6%削減 438,078 kWh
3.ガソリ ン消費 量削減	23,303 L	2%削減 22,837 L	4%削減 22,371 L	6%削減 21,905 L
4.廃棄物 排出量 削減	67.690 ton	2c%削減 66.336 ton	4%削減 64.982 ton	6%削減 63.629 ton
5.水道使 用量削 減	1,424 m <sup>3</sup>	2%削減 1,396 m <sup>3</sup>	4%削減 1,367 m <sup>3</sup>	6%削減 1,339 m <sup>3</sup>
6.FA 装 置の販 売増		* 2023 年度の 5%UP 目標値は別紙に 記載 ※	* 2024 年度の 5%UP	* 2025 年度の 5%UP
7.環境に 配慮し た製品 の販売		* LED モジュー ルの販売  目標値は別紙に 記載 ※	* LED モジュー ルの販売	* LED モジュー ルの販売

※別紙とは環境経営計画表を指す。

**\* CO2 の排出量実績（電力、ガソリン、都市ガスにて算出）**

2025 年度（2024 年 3 月－2025 年 2 月） 258,382kg-CO2

・ 2025 年度の実績：二酸化炭素排出係数=0.431kg-CO2/kWh

2024 年度（2023 年 3 月－2024 年 2 月） 266,846kg-CO2

・ 2024 年度の実績：二酸化炭素排出係数=0.456kg-CO2/kWh

2023 年度（2022 年 3 月－2023 年 2 月） 281,822kg-CO2

・ 2023 年度の実績：二酸化炭素排出係数=0.456kg-CO2/kWh

(2023.12.22 公表 東京電力エナジーパートナー(株) : 調整後排出係数)

4. 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価

主要な環境経営計画の内容	取り組み結果の評価 2025 年度 (2024 年 3 月～2025 年 2 月)			
	目標	実績	達成区分	問題・今後の方向等
1. CO2 削減	2%削減 261,509 kg-CO2	達成率 101% 258,382 kg-CO2	○	今後の方向性については、下記欄外の基準を基に目標値の再設定を行う。 ・前年度より排出量削減し目標達成。引き続き CO2 排出量削減を推進していく。
①電力消費量削減 ・ 不要照明の消灯 ・ エアコンの温度管理	2%削減 456,719 kWh	達成率 98% 464,304 kWh	×	・目標までは達しなかったが前年度より消費量を削減した。不要照明の消灯やエアコンの温度管理はおおむね良好であった。来期も引き続き節電を推進していく。
②ガソリン消費量削減 ・ 車両の点検整備の徹底 ・ エコドライブの徹底	2%削減 22,837L	達成率 91% 24,988L	×	・営業車ででの外出が増えガソリン使用量が増加。引き続きエコカー（低燃費車）の導入及びエコドライブの徹底を推進していく。
2. 廃棄物排出量削減 ・ 廃棄物分別の徹底 ・ 廃棄物量の削減 ・ 不要な資料の未取り寄せ	2%削減 66.336 ton	達成率 139% 47.837 ton	○	・今回は大掃除等での備品の処分等が無かったため廃棄物量削減となり目標達成。
3. 水道使用量削減 ・ 散水時の節水 ・ 手洗い時の節水	2%削減 1,396m <sup>3</sup>	達成率 117% 1,195m <sup>3</sup>	○	・節水を全社で推進し、目標達成することができた。引き続き節水を推進していく。
4. FA 装置の販売増	5%増	達成率 100%	○	・ 前年度より売上 UP し目標達成。
5. 環境に配慮した製品の販売	LED モジュールの販売	LED モジュールの販売	○	・ 削減分の記録と改善検討

○ : 目標達成、 × : 目標未達成

今後の方向性 : 2025 年度の各項目の実績を基準年に変更し、2026 年以降の目標をそれぞれ基準年の実績比-2%で再設定します。

## 5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況の確認をした結果違反・訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は過去 15 年間ありません。主な環境関連法規は以下の通りです。

※別表「環境関連法規等の取りまとめ（兼遵守評価表）」より抜粋

- ・ No. 1, 6 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）
- ・ No. 2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ No. 3 騒音規制法
- ・ No. 4 振動規制法
- ・ No. 5 フロン排出抑制法
- ・ No. 7 消防法
- ・ No. 8 家電リサイクル法（家電 4 品目）
- ・ No. 9 資源有効利用促進法（パソコン等）
- ・ No. 10 欧州特定有害物質の使用禁止令 (RoHS2)

## 6. 代表者による全体評価・見直しの結果

今回の環境経営レポートはガイドライン 2017 年版に沿って作成されていますが、代表者による課題とチャンスの明確化については、以下のとおりと考えております。

チャンスとしては、世の中では人手不足による求人難やそれを解決するため工場内での装置の自動化や省力化の需要が高まっております。当社の主力の FA 装置はそれらの需要に答える中で、環境負荷の低減に資するものと考えております。そのためお客様の要望に答え、売上を上げることが、環境活動にとっても大きな課題となっております。売上を最大化するには経営における課題を人・物・金・情報などの経営資源を有効活用して、企業規模に見合って適正に配分し、課題を日々解決することが極めて重要であります。

報告期間における環境経営目標の設定は適切と考えております。結果については、電力消費量・ガソリンが目標未達成となりましたが、達成できなかった項目については、次年度の月別のチェックと対応を強化していきます。

当社はエコアクション 21 に登録開始から 15 年が経過し、全社レベルで環境対応の意識が確立してきたといえます。エコアクション 21 の取り組み方について、ガイドライン 2017 年版の手法を活用し、改善・改革を進めていきます。

以上